

乳児股関節健診 Q&A

	Question	Answer
1	骨盤位等に関して	<ul style="list-style-type: none"> ・ 自然分娩、帝王切開に限らず、出産時の骨盤位を採用。 ・ 頭位以外は陽性(+)としてチェックする(横位等)。
2	家族歴はどのように確認するのか？	<ul style="list-style-type: none"> ・ 3親等内で股関節疾患があれば家族歴に含める。 ・ 臼蓋形成不全は遺伝的要因が強く関与しているので、変形性股関節症は家族歴に含める。 ・ 3親等内で股関節の骨折(外傷)以外の手術を受けた既往があれば、家族歴に含める。 ・ ☆赤ちゃんと血のつながった方(血縁者)で股関節疾患があれば陽性(+)、ただし外傷による股関節疾患は除く。 ・ 家族歴は、保護者が把握している場合は陽性(+)、把握していない場合(不明も含む)は陰性(-)にチェックする。
3	足を伸ばして身長を計測して大丈夫か？脱臼が起こらないか？	<ul style="list-style-type: none"> ・ 股関節脱臼は、長時間同じ体勢をとったり繰り返しさせることで起きる。 ・ 瞬間のことでは起こらない。 ・ 計測時に足をまっすぐ伸ばしたから起こるわけではない。
4	身体所見だけではなぜダメなのか？	<ul style="list-style-type: none"> ・ 開排制限のない股関節脱臼もある。 ・ クリックを正しく評価するのは困難で、大部分のクリックは誤った方法で評価されている。 ・ 身体所見だけに頼る健診では診断遅延が多く発生しているのが現状であるため、より系統的な健診方法に移行する必要がある。
5	前期乳児健診で二次検診精査済みの症例は後期でも紹介するのか？	<ul style="list-style-type: none"> ・ 前期で精査されている場合は後期では紹介不要。 →基本的に不要だが、家族や健診医が気になるようなら2回目の精査も推奨する。 <p style="text-align: center;">〔 診断遅延の多くが公的乳児健診を受診し、両親や祖母、保母さんなどの気づきが診断のきっかけになる。 〕</p>